

がまごおり

スポーツ推進だより

発行

蒲郡市緑町3-69

蒲郡市民体育センター

(69-3241)

蒲郡市スポーツ推進委員会

広報部会 No. 27

平成27年3月31日発行

中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰を受けて

小江地区 市川 仁史

1月30日にボートレース蒲郡で東海四県スポーツ推進委員研究大会が開催されました。

新しくなった BORT RACE 蒲郡で初めての試み、レース場越しに巨大スクリーンや各々のモニターを見ながらの表彰式、舞の海秀平さんのトークショーはみなさんに楽しんでいただけたのではないのでしょうか。

あいにくの雨でスポーツ推進委員のボート試乗体験はできませんでしたが選手によるボートレースと和太鼓は迫力があり盛り上がったと思います。

僭越ながら21年スポーツ推進委員を続けてこられたおかげで、中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰を受けることができました。

東海4県で28人、代表として壇上に上がり表彰状を受け取り貴重な体験をさせていただきました。平成24年には東海四県功労者表彰、平成25年は20年表彰と続き、本当に同じスポーツ推進委員の仲間とそして気持ちよく出かけられる家族に感謝しています。

仕事は休日が忙しい自営業であるため、行事に参加できなかったり、まわりに迷惑をおかけしたりしましたが、できる限り続けていきたいと思っています。



まだまだ歳は若い方で若輩者でありますのでみなさんからご指導受け人生経験を積みながら、また、新しい出会い、スポーツに巡り合えることを楽しみに、いつまでも健康でいられるよう頑張っていきたいと思っています。

そして周りの人が健康でいられるよう、スポーツ推進委員が益々盛り上がっていけるよう活動していきたいと思っています。

26年度新スポーツ推進委員紹介

北部地区 牧原 伸幸

今年度より北部地区のスポーツ推進委員になりました牧原です。
委員になり実感も湧かないまま半年が過ぎ、地区行事では、北部体育祭が行われ無事に開催する事ができました。

そのため、事前準備の段階（学校・公民館・常会等の調整、体育委員の打ち合わせ等）での、大変さに驚きました。

中心となり、取りまとめいただきましたスポーツ推進委員の鈴木さん、本当にお疲れ様でした。

終わった後の打ち上げは、皆さん達成感のもと楽しい会となりました。

今後も、スポーツ行事を通してたくさんの方とふれあい、私なりに楽しみながら頑張っていこうと思いますので、ご指導の程よろしく願いいたします。

ダーツ大会

西部地区 山本 朱実



5月18日（日）に竹島小学校体育館にて、ダーツ大会が行われました。
お忙しい中、21名の参加申し込みをいただき、3チームに分かれて、にぎやかに開催されました。

参加者最年少は14歳から、最高齢は86歳まで、まさに三世代でわきあいあいと和やかな空気の中、ご年配の方々には孫に教える様に、あ

たたかく見守ってくださっていました。

地域で定期的にダーツを練習している方達も沢山参加してくださいまして、大変真剣にMyダーツで投げていました。

2ゲーム終了後、集計結果を自分のダーツ手帳に日付と点数を記入している方が沢山いたのには驚き、また感心しました。

若い人から年配の方まで、年齢に関係なく、集中力さえあれば誰でも楽しめるダーツ。これからも何回も続けていけたらいいなと思いました。

最後に一言... 主催する方は、もう少し商品を多めに用意していただけると・・・。

皆さん上手ですよ！

ユニホック大会

蒲郡地区 永田 久子

私事で済まないが、ユニホックって一体どんなホックだ、ボタンだという位、耳慣れない競技であった。

道具もスティックと呼ばずポールと言う。ポールは膝より上にあげてはならない。ポールを受ける時は身体を動かしてはならない。

こうしたルールが少しずつ分かってくると、面白さも分かってくる。

この大会も十五年になるそうで、参加チームもジュニア組も加えて十四チーム。年齢も小学校一年生から六十才まで。

小学校低学年が必死に球に喰らいついていく姿、中・高生のスピード、高齢者のテクニック、それぞれの年齢と自身の技量による競技、それぞれが出て来るのがユニホックのいいところなんだね。

まだまだ知名度の低い競技である。現在ジュニアチームは三組のみ。小学生の皆さん、今からそのいずれかに入会して大会に名前を連ねれば三位以内、どれかに入れるのだ。入賞間違いなし。チャンスは今でしょ！（ちょっと古かったかな）



東三河スポーツ推進委員実技研修会

蒲郡地区 永田 久子

去る6月28日土曜日、新城市作手鬼久保ふれあい広場に於いて、ノルディックウォーキングの研修会が、総勢153名の出席の下、実施された。

平行して、永続表彰があり、5年表彰には蒲郡から岡田育子さんら4名もの表彰者があった。

当日は、時折小雨がパラついたり、たまに薄日の射す今頃の季節にしては涼しいウォーキング日和であった。そして、蒲郡の西井マリさんの指導の下、グラウンドを出発し、4.3キロの道のりに向かった。

出発してしばらく歩くと、「ちょっと永田さん、杖



にしちゃだめだよ。あくまでスポーツなんだから。地面から離さないで、手はグッパ、グッパと握ったり、離したりして歩いてください。」と、注意を受けた。

いやあ、どうも楽な競技だと思った。そんなこんなで右手右足同時に出したりで、悪戦苦闘しながら、なんとかゴールできた。
無事、山道の帰路に着いたのであった。



愛知県スポーツ推進委員研修会

三谷地区 水藤 浩司

7月5日(土)刈谷市の刈谷市総合文化センターで今年度の愛知県スポーツ推進委員研修会が開催されました。県内の各市町村から1200名もの多くの参加者のもと、講義とパネルディスカッションが行われました。

講義は「全国スポーツ推進委員連合リーダー養成講習会に参加して」というテーマで、名古屋

市スポーツ推進委員の山田光範氏と森尚美氏から講習会の内容を伝達されました。両氏からは、体育指導員からスポーツ推進員への制度の変遷、スポーツ推進委員の資質と役割、さらに地域スポーツにおける今後の課題や、その中で今後特に期待される役割などについて伝達講習を受けました。

特に「コーディネーター」としての役割が重要であると強調されました。様々な地域の課題を取り上げ、行政やスポーツ団体、学校、総合型スポーツクラブなど関連の組織と連絡・調整を密に取り、地域住民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を築いていくための活動に力添えをすることが大切であるとされました。

パネルディスカッションは、「スポーツ推進委員の抱く疑問や課題」をテーマに、各地区から出席された6名の推進委員と中京大学スポーツ科学部の講師倉持梨恵子氏をコーディネーターとして、「リーダーに関すること」や「推進委員の仕事と趣味」をテーマに、それぞれの意見が交換されました。「リーダーは作られる」という意見は印象的でした。先輩から学び、周りの人たちと協力して実践経験を重ねることでリーダーの資質が作られるといくこと。また、「いろいろな人から支えられることで、支える側に回って努力することができる」という豊橋市の鈴木さん(経験23年)の意見も印象的でした。

東海四県スポーツ推進委員研究大会愛知大会

府相地区 鈴木健司

第62回東海四県スポーツ推進委員研究大会の愛知大会が、1月30日(金)～31日(土)の二日間で、約2,600名の参加するなか蒲郡市で開催されました。

第一日目は、蒲郡競艇場にて開会式・表彰式が行われました。表彰式では、功労者表彰が49名、団体功労表彰5団体、中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰28名の個人・団体の方々が表彰され、その中で蒲郡市のスポーツ推進委員の市川仁史氏が、中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰を受けました。その後、和太鼓集団「志多ら」のアトラクション、舞の海秀平氏（元力士）のトークショーがあり、トークショー終了後に競艇場開催という事もあり、ボートレースのデモンストレーションがありました。小雨の降る中ではありましたが、迫力ある6艇による本番さながらのレースがあり、レース内容も元レーサーであった吉田氏の分かりやすい解説により、参加者のほとんどが見入った事と思います。その後、再び和太鼓集団「志多ら」の迫力ある和太鼓の演奏、舞の海秀平氏のトークショーがあり、一日目は雨に降られたものの無事に終了することができました。



二日目は、会場を二拠点に分散し、蒲郡市民会館では第一分科会から第三分科会までの研究発表が行われ、我々蒲郡市は第四分科会の実技研修という事で、「竹島ベイパーク」を拠点とし、4km程度歩くノルディックウォーキングを行いました。ノルディックウォーキングの当日を迎えるまでに、蒲郡市のスポーツ推進委員としてある程度の技術を身に着けるために、昨年から数回の技術練習等の勉強会を行ったり、更には500名近くの方がスムーズに廻れる為のコースを実際に歩き調査したり、問題点の把握などを行いました。

そして、1月28日（水）と29日（木）には、ノルディックウォーキングのポールを愛知県の5カ所の団体から借り入れをし、1班から15班までのポールの振り分け、更に各参加者が取り付けるビブスの班毎の数字の書入れ等、当日に向けての準備を行いました。

31日（土）の当日を迎え、前日の雨は上がり晴れはしましたがかなりの強風と「竹島ベイパーク」のグラウンドの水はけの悪さから水たまり等の対応に苦労はしたものの、何とか受付時間に間に合いました。各班の個人のポールの準備を終了した頃に、分科会の開会式が始まりました。実施上の注意事項・準備体操・模範演技を行い、ある程度理解して頂いた後、各班で実技講習を行いました。僅か50分程度の講習ではありましたが、強風の中で事故・怪我をすることもなく、無事に終了することが出来ました。今回実技研修で学んだ内容を、今後スポーツ推進委員活動に活かしていきたいと考えます。



三河湾健康マラソン大会

蒲郡地区 荒島 貴幸

第31回三河湾健康マラソン大会が2月8日（日）蒲郡市民会館を会場に開催されました。この日は、大会を初めて以来2回目となる、朝から生憎の雨となり、申込者3752名のうち、いつもより1割多い約2割の方が不参加になったようです。

その影響もあり、例年の受付での混雑もあまりなく、特に3キロの参加者の親子連れが、沢山列を作る光景を目にすることもなく、盛り上がり心配されました。

そのなかでも参加者は、雨の降る寒い中、3キロ・車いす10キロ・10キロと気合一番、スタートしていき、帰ってくるころには体全体から白い湯気が湧き上がり、その表情は毎年同様に完走した満足感がつたわってきたので、ひと安心でした。

（寒さを感じていたのはスタッフだけだったのかもしれませんが）

私事ですが、同級生が参加している姿を見ていると、最近運動不足の自分としては、市川さんを見習って少しずつトレーニングを重ねて参加できたらいいなあ・・・と、毎年、「今年こそは」と思う年始の行事であります。



表彰関係

◇中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰

市川 仁史（小江地区）

〈5年表彰〉杉浦 敏明（大塚地区）

水藤 浩司（三谷地区）

岡田 育子（塩津地区）

牧原 守（西浦地区）

表彰された皆様、おめでとうございます。